

## 第7節 1月22日（土）：立川～武蔵境、高円寺～新宿

2022年1月22日（土）快晴、昨日の山手線の仕上げ（目黒～原宿：営業キロ4.3 km）に加え、中央線（立川～武蔵境；11.8 km、高円寺～新宿：5.8 km）にリベンジ。不連続な3区間を一日で踏破するのは、2000年5月のウォーキング開始以来初となった。このような歩き方は、ダイヤが密な大都市東京だから出来る手法かも知れないが。

<その1>

立川（8:04）～国立（8:56）～西国分寺（9:33）～国分寺（10:12）～武蔵小金井（10:56）～東小金井（11:22）～武蔵境（11:58）

①立川駅はリベンジ13回目（2021年12月24日（金）：五日市線・青梅線）で立ち寄って間もないので強く印象に残っていた。鉄道の左側を歩く。8時12分、可愛い猫の画像を描いた民家前を通過。8時19分、曙第七公園前を通過。8時36分、見事な幹をもつ桜前を通過。8時49分、JR線下を潜り、鉄道の右側となる。そして暫く歩いた先に国立駅（8時56分）があった。この駅は、20年位前、家内と一緒に一橋祭で何度かお邪魔した駅舎であったので懐かしくなった。



※立川駅、立川駅界限



※野菜畑、立派な桜



※国立駅、ここから少し行った先に一橋祭の会場

②国立駅から少し歩いた先で急な丘となり、9時5分袋小路にぶつかる。地元の方の応援で、袋小路を抜ける道筋を教えてください、無事リカバリーできる。急な階段を上った先に、鉄道に沿った路筋が西国分寺駅に向かって続いていた。線路は歩道から10m位下の溝にあった。恐らく、山を削って鉄道線路工事を開発したのであろう。鉄道に沿った両岸には民家が数珠のように繋がっていた。鉄道には数分の感覚で上下の電車が通過して行く。流石、「大都市東京のダイヤである」と感服。9時15分、鉄道を横切る築山橋があった。9時24分、一般道に合流するが、直ぐに鉄道に沿った路筋に戻る。ここでもそうであったので、地方・首都圏の鉄道を問わず、鉄道に沿って路筋が多いことを痛感する。西国分寺駅には9時33分到着。この駅舎も昨年10月23日（土）武蔵野線リベンジの際、立ち寄った駅舎なので、”全国鉄道つたい歩き鉄道路線図”がまた一步前進した。



※西国分寺駅への路



※西国分寺駅

③9時40分、武蔵野線を横切る。9時46分、官公庁が立ち並ぶ研修所前を通過。急な丘を下り、くねくねした道筋を歩き、国分寺駅を目指す。やっと10時12分、国分寺駅に到着。駅前にはコロナ禍の影響を受け、閉園中の都立殿ヶ谷戸庭園があった。



※武蔵野線を横切る、官公庁の研修センター通り、急な坂道を下る

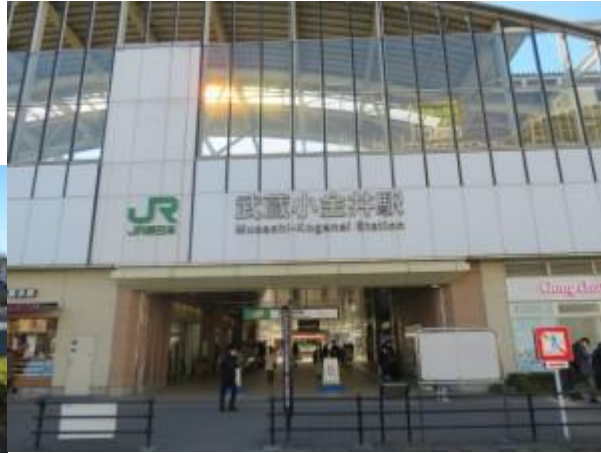


※国分寺駅への路（溝から高台に特急車両）、国分寺駅



国分寺駅、都立殿ヶ谷戸庭園

④武蔵小金井駅への途中、線路から大きく離れ、不安となる。たまたま通りかけた人に武蔵小金井駅への道筋をお伺いする。「この道を真っ直ぐ歩くと、高架した鉄道にぶつかります。鉄道に沿って歩いた先に武蔵小金井駅があります。まだまだ距離がありますよ」と教えて頂く。お蔭で10時30分、高架した中央線脇に到着することができる。10時34分、小金井小学校前を通過。10時42分、都立小金井工業高校前を通過。ここから線路の左右に移動しながら武蔵小金井駅を目指す。武蔵小金井駅には10時56分到着。この駅の界限にはK先輩の自宅があり、2000年頃、高松一高関東桜紫会忘年会の二次会でF先輩・I先輩と一緒に邪魔した懐かしい思い出が蘇る。また、2019年8月18日（日）、従兄弟から立教大学グリーンクラブOB男声合唱団第6回リサイタルの招待を受け、下車した駅などで強く印象に残っていた。



※武蔵小金井駅への路、武蔵小金井駅

⑤高架した線路下を淡々と歩く。11時11分、武蔵自動車前を通過。粋な商品を置いているスーパーマーケット”成城石井”に面した東小金井駅には11時28分到着。



※東小金井駅への路、東小金井駅



※東小金井駅、西武多摩川線の踏切

⑥鉄道の右側を歩く。そのうちに JR 線から大きく乖離する。11 時 33 分、西武多摩川線踏切を横切る。少し迷子になった心境になる。ネットと地元の人のお蔭で、無事リカバリーでき、武蔵境駅には 11 時 58 分到着。この駅に面して西武武蔵境駅もあった。12 時 3 分の中央快速で高円寺駅に向かう。中編に続く！！



※武蔵境駅への路



※武蔵境駅

<その2>

電車で高円寺まで乗り継いで移動：武蔵境（12:03）→荻窪（12:21）→高円寺（12:27）

高円寺（12:28）～中野（12:57）～東中野（13:26）～大久保（14:02）～新宿（14:22）

①土日祝日は、高円寺には快速は停車しないため、荻窪駅まで快速で向かい、そこから中央線・総武線の各駅停車に乗り換え移動することにした。途中、荻窪駅に停車しない特別快速が三鷹駅で追い越して行く。高円寺までの所要時間は、25分位待ち合わせ時間を含めて要す。12時37分、鉄道下を潜り、左側から右側になる。12時46分、今度は陸橋を渡り右側となる。12時57分、鉄道下を潜って左側となり、50m位歩いた先に中野駅（北口）があった。駅前ではPCR検査をする会場があった。50位の人がこの検査のため並んでいた。



※高円寺駅、高円寺駅界限



※陸橋を横切る、中野駅



※PCR 検査会場、中野駅

②鉄道に沿って色な壁画を描いた道筋が 500m 位続く。13 時 6 分、この壁画が終わった先に、東京工科大学や明治大学の付属中学校・高校があった。この通りは桜山通りとあり、桜並木が 100m 位続く。その先に東中野駅（13 時 26 分）があった。この駅には都営大江戸線もあった。





※壁画がある桜山通り



※東中野駅、大久保駅への路

③鉄道の右側をキープし、本日最大のくねくねした道幅2~3m位の狭い路地(北新宿エリア)を歩き、大都市東京の街並みを満喫する。一方では交通の便はいいが、「火災等が起こった場合には大変だなあ」と強く感じる道筋であった。13時35分、38歩ある万年橋を渡った先で大通りに出る。「大久保駅近し」とネットに出るが、駅舎が見当たらず。そこで通行人のお世話になり、14時2分、大久保駅に無事到着できる。幹線道路から少し入り込んだ先に大久保駅があった。この駅前には、何度かお邪魔した雀荘(發)があり懐かしくなった。



※大久保駅への路、大久保駅



※大久保駅、雀荘”發”

④大久保駅からも同様、鉄道に沿った右側を歩く。14時6分、百人町一丁目歩道橋を渡る。そして淡々と歩いた先に青梅街道の大通り（14時14分）に出る。この歩道は50m位あり、恐らく日本一長い横断歩道ではないかと推察する。この横断歩道を渡ると新宿駅西口（14時22分）があった。これで中央線のリベンジは無事終了となる。14時23分の山手線で昨日アップした目黒駅に向かう。後編に続く！！



※新宿駅への路、百人町一丁目歩道橋、青梅街道に出る



※50m 位ある横断歩道、新宿駅

